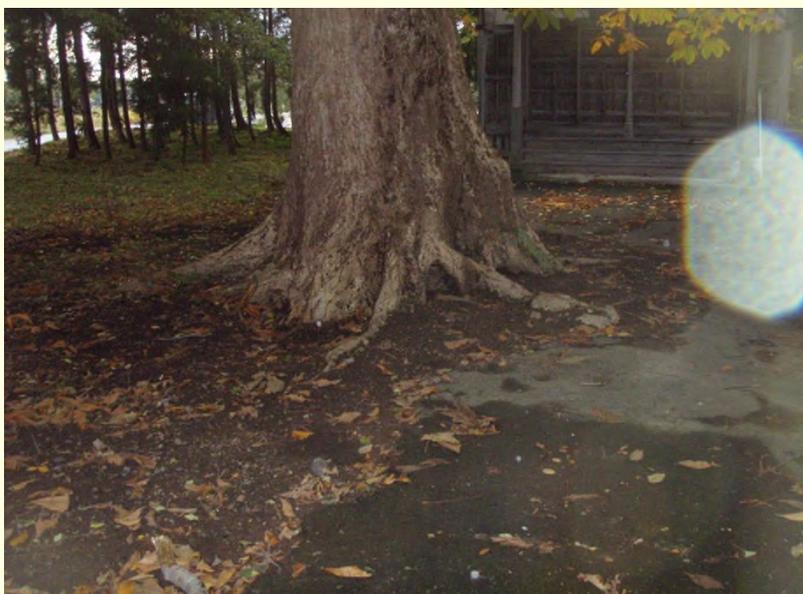


板柳町八坂神社のトチノキの保護・保全事業実施報告書です。

名木の所在地	青森県北津軽郡板柳町大字夕顔関字長田（八坂神社境内）
名木の名称	八坂神社のトチノキ 推定樹齢 450年
名木の所有者	齋藤 敏昭
治療年月日	平成22年10月15日（金）
樹木医による 名木の診断内容	津軽平野のど真ん中にトチノキの巨木が生育していることが珍しく、また、神社境内の真ん中に生育し、参道とやや重複して生育している。樹体下部を見ている限り健全な状態であるが、やや離れて樹木全体を観察すると、梢及び樹冠上部の枯枝が激しく衰弱していて、葉も小さく枝葉も疎らで結実もほとんどしていない。 根元周辺の土壌は固結し、根系活動の障害となり、参道となっている部分はアスファルト舗装で、根元の一部は踏圧されて固結し根系の伸長に障害となっている。腐朽部分は小さい。
実施した治療内容	根元のアスファルト舗装を剥離して、人力で掘り起こし踏圧土壌を軟らかくすること、土壌内の有機質を高め土壌全体を肥沃にして、トチノキの健全な生育ができる土壌環境とする。 高度な有機質を含む改良材と、土壌の有機質分解を促す微生物増殖環境とするため空隙率の高い活性炭により、土壌改良工を図る必要がある。 また、土壌改良したあとに細根の発生を多くするために、発根剤の散布と新根の健全性を促進するため養生剤の散布が必要である。
今後の名木に対する留意事項	参道となっている部分がアスファルト舗装であり、今回は少しだけアスファルト舗装を剥離しただけであるので、樹勢の回復が思わしくない場合等には、参道のアスファルト舗装を大きく剥離してもういちど土壌改良を行う必要がある。



板柳町大字夕顔関字長田
八坂神社のトチノキの木です。



参道となっている部分は、アスファルト舗装で、根元は踏圧されて固結し、根茎の伸長に障害となっている。
踏圧土壌を柔らかくし、土壌改良工を実施した。



離れて樹木全体を観察すると、梢及び樹幹上部の枯れ枝が激しく、衰弱している。